

## くまもと未来ネット通信

## Kumamoto Mirai Net Working Report

事務所を移転しました。長年親み大変お世話になりました味噌天神から、少し歩くと文字どおり熊本市のオアシスでもある自然環境が豊かな上江津湖の近くです。駐車場や道の案内もありますので、お越しの際は、事前のご連絡をお願い致します。

## ■脱プラスチック、そしてその先へ

(水(すい)“Do(ドウ)”ネットワークの活動)

タイトルは、毎年実施しているフォーラムの今年のテーマです。



※右肩に示したアイコンは記事に関連したSDGs 17の目標からの引用です。

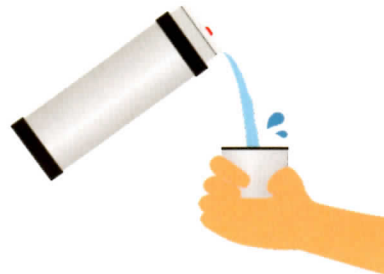
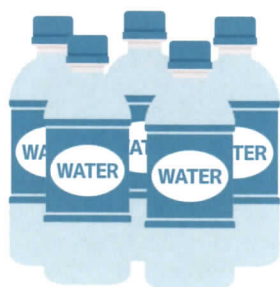
廃プラスチック、ペットボトルなどに端を発するマイクロプラスチックの海洋汚染問題等々が新聞に載らない日はありません。5月10日には、有害廃棄物の国際移動を禁止する「バーゼル条約」締約国会議で、汚れたままのものや、他のゴミが混ざっている廃プラスチックを規制対象にすることを合意しました。ただ、国際的な動きはあるものの、身近なところでは、ポイ捨てのペットボトルなどを目にするのが多いですね。捨て方や再利用の前に、まず、使い捨てのものを減らす工夫をしなければ、解決は遠いです。

水“Do”ネットワークでは、マイボトル（使い捨てなし）に水道水を入れて飲む（水の域産域消）ことを推奨し、数多くの給水スポットの設置を目指して、毎年フォーラムを行っています。今年（2019年3月13日（水）東京四谷・プラザエフ（主婦会館））は、基調講演を東京都市大学名誉教授の中原秀樹氏より持続可能な消費と生産、天然資源使用量と豊かさの切り離し（デカップリング）、エシカル消費の考え方などについて示唆に富んだご講演をいただきました。世界の給水スポットは、イギリス・ブリストルのNGO「City to Sea」のガスホイト氏よりRefillプロジェクトの活動について報告がありました。ブリストルから始まった活動が全国に広がり、給水スポットや様々なアクションをス

マホで容易に検索できるのです。続いて事務局長の瀬口より、米国西海岸の脱プラ、脱使い捨て容器の条例やビジネス展開の報告を行いました。後半は、祇園祭でリユース食器導入を実現した地域環境デザイン研究所ecotoneの太田航平氏、容器不要のネイキッド商品で消費者の意識を変えるラッシュジャパンの窪田とも子氏、日本初のレジ袋有料化等推進条例を施行したレジ袋削減のパイオニア東京杉並区環境部の高橋澄人氏に事例発表をいただき、先にRefillの事例報告をいただいたホイト氏と事務局長の瀬口が加わり、シンポジウム「脱使い捨て社会構築のプロセス」を議論しました。

さて、熊本ではどうでしょうか。プラごみとペットボトルの分別は行われ、ほぼきれいに洗って出されていますが、道路でポイ捨てのものも多くみられます。また、江津湖で、観察会とゴミ拾いをセットにすると、45リットル袋がパンパンに膨れるほどたくさん拾います。地下水日本一を誇る熊本ですから、できるだけ、マイボトルに入れて水道水を飲むようにしたいものです。そのためには、気軽に給水できるスポットの整備が急がれます。

活動の詳細は以下のURLからご覧いただけます。<http://sui-do.jp/>



## ■企業のエシカル通信簿 第3回結果発表会



2019年3月19日に、東京・聖心女子大学で、企業のエシカル通信簿 第3回結果発表会が開催されました。「企業のエシカル通信簿」は、環境、人権、平和、アニマルウェルフェアなど7つの分野で、企業の「エシカル度」に成績をつけたものです。第1回（2016年）は食品業界とアパレル業界、第2回（2017年）はコンビニ業界と宅配業界を調査。そして3回目となる今年度は、家電業界と外食チェーンの大手各5社、計10社の調査を行いました。結果発表会では、

各社ごとの成績を発表し、業界・企業の動向、課題の解説が行われました。くまもと未来ネットも調査に参画しており、結果発表会に出席いたしました。（<http://cnrc.jp/>で公開中）。家電業界は全般的にSDGsの取り組みが進んでいるとの結果でしたが、外食産業は低調で、課題が大きいと思われました。今後の改善に期待するとともに、エシカルな取り組みを推進する企業の製品を優先的に選ぶ、という消費者の行動が重要であることも再認識しました。



調査に参加した各団体のメンバー



結果発表の様子

## ■オリジナルのフェアトレードポロシャツが完成！

～教育現場から実践スタート～（くまもと未来ネットのプロジェクトから）



※他に、1,2,5,8,13が該当します

フェアトレードタウン認定都市として、2度目の更新を終えた熊本市。そんな熊本市を中心として「グローバルなフェアトレードを日常に」を合言葉にスタートした未来ネットのフェアトレードプロジェクト。

でも使用していますよ！

本商品を通し、セネガルの生産者、そして、フェアトレード製品を作り出す地域アパレル業の活性化に貢献できればと考えています。

会員の皆様もお揃いでいかがでしょうか。

このプロジェクトの第一弾企画として、フェアトレードを日常的に利用かつ認識してもらうには、制服として利用してもらうことが効果的ではないかという考えのもと、フェアトレードポロシャツを商品化しました。左肩の大きな「フェアトレードマーク」がポイントです。生地にはセネガル産のフェアトレードコットンを使用。製造は荒尾市に本社を構え、国内初のフェアトレード繊維製品



サクセスリンク株式会社様

早速、熊本県内で「明光義塾」（学習塾）、「ほねつぎ」（整体）などのフランチャイズ事業を手がけるサクセスリンク株式会社様が「明光義塾」のスタッフ全員分の制服として本商品を購入いただきました。もちろん、未来ネット

未来ネットのロゴ入りポロシャツ



## ■環境負荷の少ない地域電力「ひご未来エネルギー」



エネルギーを地域へ取り戻そう！ （くまもと未来ネットのプロジェクトから）

2016年4月から電力の小売が全面自由化され、消費者は電力会社を自由に選べるようになりました。未来ネットでは、電力販売による収益で地域の市民活動を支援し、安心・安全な再生可能エネルギーをもっともっと地域に増やしていくため、昨年、本事業に参入しました。

未来ネットの販売する電力の再生可能エネルギー比率は現在25%（RE25と言います）程であり、大手電力会社のそれと比較すると倍以上の比率となっています。再生可能エネルギー比率が高く、地域の市民活動の貢献に繋がるエネ

ルギーを選びたいという方、この際にぜひ未来ネットの販売する「ひご未来エネルギー」への切り替えをご検討ください。



手続きは非常に簡単です。費用負担も面倒な手続きも不要です。お気軽にお問い合わせください！

### ●切り替えの流れ●

切替は全て弊社にお任せください。費用負担も、面倒な手続きもありません。



## ■担い手NPO育成支援事業を終えました

県内NPO等の中間支援事業 （くまもと未来ネットのプロジェクトから）

本年度も引き続き、熊本県より「平成30年度地域の絆強化事業 担い手NPO育成支援事業」を受託し、県内のサードセクター3団体のコンサルティングを実施しました。本年度から、サードセクター向けのコンサルタントを目指す三名の方向けのコンサルタント養成支援も同時進行で実施しています。

まずは自らの団体のミッションとビジョンを改めて定義することからスタートし、それを踏まえた上で長期成果、中期成果、短期成果、そして事業と、その整理及び落とし込みを実施していきました。

障がい者や子供、そしてコミュニティ支援活動を実施する団体のコンサルティングでは、代表者の本質的ながらも膨大な事業思想を整理す

ることで、一緒に働く仲間とのコミュニケーションの向上に繋がり、更に良いチームを形成していけるようになったとお喜びの声をいただきました。

ミッション、ビジョンの定義化と、ロジックモデルの製作で、“応援される組織”を作ることができると再認識しました。



## 【今回のキーワード】

### ■SDGs (Sustainable Development GOALS : 持続可能な開発目標)

2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この文書の中核を成す2030年までに達成すべき目標 (具体的行動指針) です。持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットから構成され、SDGsは発展途上国のみならず、先進国も取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。



※各記事の右肩に示したアイコンと数字は、関連するSDGs 17目標からの引用です。

### ■フェアトレード (Fair Trade : 公平・公正な貿易)

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみです。 <https://www.fairtrade-jp.org/>

### ■サードセクター (Third sector : 市民セクター、国際的には民間の非営利団体を示す)

町内会、地縁組織、協同組合、特定非営利活動法人 (NPO法人)、各種公益法人、任意団体、社会的企業、等、公共目的のための様々な団体であり、安心・安全で持続可能な地域づくりの担い手です。

## 編集後記 (SDGsの目)

個人的な話で4月にCSR検定を受験した。そこではCSR = 企業の社会対応力と解釈する視点が重要と学ぶ。資本も市民もCSRリスクを避ける時代へ向かう中、トヨタは「トヨタ環境チャレンジ2050」長期目標でCO2ゼロを掲げる。素晴らしいと思ったが、熊日新聞には「政府の有識者会議にて産業界反対 (トヨタ会長も強く主張) で大幅後退「石炭全廃」座長案消える」の記事が。実情は、まだまだの様だ。旧かんくまから発展した“くまもと未来ネット”においては、2014年に再編した「持続可能な熊本への提案」が、SDGsに先行してバックカスティングによる地域課題の分類と提案 (目標)、状況評価、取組み事例の提示を行っている。この提案群とSDGsとのマッチングの議論が始まる。とつけみにゃあ。

## ご支援・ご協力をありがとうございます (2018.10~2019.5)

### 【正会員】

(個人) 小椋清市、大西康史、鎌田聡、歌岡宏信、坂本講一、白石伸彦、朱永徳、手嶋敬、永村一泰  
中村潤三、松本圭子、村山知之、渡辺利男、松生由紀子

(法人) (一社) 熊本県保険医協会、(医) 原武会北部病院、白井工業(株)、(株) ネイチャー生活倶楽部  
エコワークス(株)、秋津レークタウンクリニック、(一社) 熊本県労働者福祉協議会、(有) 熊本装新  
(株) 柘調剤、(特非) 九州バイオマスフォーラム、(福) 仁風会、(公財) 阿蘇グリーンストック  
新屋敷山下歯科・矯正歯科

【賛助会員】 (個人) 内田敬介

【維持会員】 菊水正博、松野信夫、森川雅史、吉住眞 ※敬称は省略しております。

寄付・会費等のお支払いは以下の口座へよろしくお願い致します。

肥後銀行 味噌天神支店	普通預金	1495574	NPO法人	くまもと未来ネット
九州労働金庫 熊本支店	普通預金	2702440	NPO法人	くまもと未来ネット

### 【発行】



NPO法人  
くまもと未来ネット  
Kumamoto Mirai Net

〒862-0942 熊本市東区江津1-7-17

TEL 096-362-3776 / FAX 096-200-6395

E-mail: home@kumamoto-mirai.com

☆最新情報はFacebookをご覧ください <https://www.facebook.com/kankuma1994/>

★★★少し歩くと熊本市のオアシス上江津湖へ行ける場所へ引っ越しました★★★